

症例報告 8

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の 1 つをご報告します。

目的

患者に適した面版を選択し、ストーマ周囲に面版が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

患者の概要

患者は 86 歳の女性で、直腸癌と診断され、直腸切断術と結腸ストーマ造設術を行いました。患者は最近脳卒中を患い、手足の筋力が低下したために、高齢者居宅介護施設に居住し、ストーマケアのサポートをスタッフが行っています。

問題

患者は「再発性皮膚感染症」によるストーマの治療のために入院しましたが、2ヶ月前から面版がうまく密着しないことに悩んでいました。施設スタッフは、さまざまな製品を評価し、使用するアクセサリを増やしました。これらの試みにもかかわらず、ストーマ装具から漏れが起こり、少なくとも毎日交換していました。頻繁に漏れが起こるため、以前は自分で行っていた装具交換を人に頼らざるを得なくなりました。患者は「とてもイライラし、自分の感情を制御しきれなくなっている。」と話しました入院後は、ストーマケア専門看護師が患者の評価を行いました。面版の近接部に浸軟を伴う皮膚損傷 (PMASD) があり、ストーマ周囲の皮膚に痛みと灼熱感がありました (写真 1)。

ケアの実際

PMASD は、便の漏れによるものと判断されました。皮膚を洗浄して乾燥させ、ストーマの周りに用手成形皮膚保護材を追加し、二品系硬性凸面型面版「ニューイメージ セラプラス 凸面」を貼りました。面版の追従性と配合成分が適切であると判断され、患者は翌日施設に戻りました。最適なケアを行うため、患者および施設スタッフと管理計画を話し合いました。

裏に続く



写真1 面版の下で炎症を起こしたストーマ周囲の皮膚。



写真2 1週間後に最初の改善が見られたストーマ周囲の皮膚。



写真3 セラプラス面版を使用して2週間後のストーマ周囲の皮膚。

セラプラス™

*リモイス技術使用

著者および略歴:

Lisa Glendining
ストーマ治療専門看護師

John Flynn Hospital、
クイーンズランド州、オーストラリア

症例報告 8

結果

1週間後、面板を安定させるための用手成形皮膚保護剤や他のアクセサリが必要なくなりました(写真 2)。2週間後、ストーマ装具は通常どおり週に2回交換され、漏れはありませんでした。スタッフは、スタッフの配置上、都合のよい月曜日と金曜日に、面板を交換することにしました。患者のストーマ周囲の皮膚は継続的に改善していきました(写真 3)。

ストーマとストーマ装具が適切に管理できるようになり、患者はこの結果に非常に満足していました。患者は自信を取り戻し、皮膚には痛みもなく、腹部の反対側の皮膚と同じように健康的で正常に保たれています。

結論

この症例は、いくつかの困難な問題がありました。この患者は、施設の職員が管理に介入していましたが、ストーマ周囲の皮膚に継続的に合併症を発症していました。ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れています³。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマの周囲に適切に追従させ、漏れを防ぐだけでは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に保つのに十分ではない場合があります。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge*. J Wound Ostomy Continence Nurs. 34(1):70.2007.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study*. PLoS ONE. 2012; 7(5):e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G *A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit*. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面」と、「ニューイメージ ロックンロール」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者に適応となるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。

 すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホルスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated



Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com